

総合カタログ



For “The feeling of presence”

目次

アンダンテラルゴの「3つの音質評価スケール」	3
ラック・テーブル・ボード	5
接点拡張剤	7
レコード内袋	7
スパイク受け	8
ケーブル	9
ノイズポンプ プラグ	9
スイッチング ハブ	9
レコードクリーナー	10

For



Sound Policy アンダンテラルゴの3つの音質評価スケール

アンダンテラルゴでは大きく分けて3つの音質評価スケールを自社製品の開発、輸入製品の評価、オーディオシステムのセッティング等に一貫して採用しています。

なぜ、そのようなスケールを設けるのか？

メーカーとして「良い音」を提供するにはまず、こういった状態が「良い音」なのか？という明確な基準を定める必要があります。そして（漠然とした「感覚」ではなく）その基準をもって設計・選定した製品のみをラインナップしてこそ、安心して弊社取り扱い製品をお選びいただけたと考えております。

下記3つのメソッドは弊社内だけのものではありません。皆様が機器の試聴をされる時はもとより、ご自身のシステムのセッティングやグレードアップの参考としてもご利用いただければ幸いです。

①「楽器と楽器」のセパレーション

システムをセッティングするにあたり、楽器の前後・左右の位置や存在の明確さをリアリティとして追求する人は少なくありません。しかし弊社の考えとしては、それはあまり問題ではないのです。

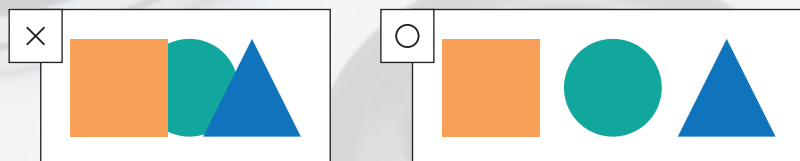
これには反論される方もいらっしゃると思いますが、例えばギターでも、生の本当に良い楽器を自然な環境の中で弾いてもらい目をつむると、どこで演奏しているのか、どこに楽器があるのか、サウンドホールがどこにあるのか、意外と分からなくなるものです。ピアノも同様で良いコンサートホールではピアノ自体から音が聴こえるというよりも、その部屋の空気全体に音が満ち満ちているのです。そこには美しい音色と豊かな響き（倍音）が聴こえています。要するに本来の「自然な音」は楽器の位置がはっきりとしない事が多いのです。

ところがひとたび、オーディオシステムから音楽を鳴らすと「あの人はここで歌っている」とか「Aの楽器はあそこで、Bの楽器はここにいる」とよく言われます。私共にとってそのような音の出方は、十分な倍音がまだ出ていない状態だと考えます。本当の生音に近くなればなるほど、案外ははっきり「ここ」とか「あそこ」が重要ではなくなる。むしろそちらの方が本来の姿に近い自然な音と考えています。

もちろん精度が上がると指で指せる、場所がわかるということは、決して間違いではありません。ただ問題なのは、そのことばかりを追求していくととても不自然な音に陥ってしまうことなのです。

そこで私どもが重要視していることの一つは、楽器間のセパレーションです。例えば一般的なオーディオで3重奏の曲を聴いてみますと、それぞれの楽器の音が折り重なって聴こえることがあります。また小さな音量の伴奏旋律が、大きな音量の主旋律にかき消されている、というケースもよくあります。絵画で言えば、壁に掛った複数の絵がお互いに被さって見える状態で、非常に不自然です。絵画の世界ではそうないことですが、これが音楽再生の世界ではよく発生しているのです。

ジャズトリオのピアノ・ドラムス・ベースも、全てがまとまって聴こえるのではなく、ピアノはピアノで独立して聴こえ、ドラムはドラムで手に取るように聴こえ、ベースはベースではっきりと旋律を奏でてこそトリオの演奏になります。それでこそ彼らが異なる3つの楽器と旋律を受け持つ意味があるのです。



ビッグバンドの演奏でも、プラスが大音量で鳴る中に1本のアコースティックギターがいるならば、例え小さな音であっても、はっきりと聴こえてほしいのです。作曲家は最も目立ちにくいパートにも、そのささやかな旋律が必要だからスコアに書いています。ですから、音量の大小にかかわらず、楽器同士の音は「被らず」明瞭に再生されなければならないのです。

②「一音一音」のセパレーション

もうひとつ大事なセパレーションは、楽器の一音一音がその前後の音とは別々に、はっきりと聴こえることです。例えば、スラー記号でもない限りは「ド・レ・ミ」という様に聴こえるのが理想です。ところがちょっとでも再生音の歪みが増えると、一気に「ド〜レ〜ミ」とみんなつながってしまう。このセパレーションも、私どもは非常に大切であると考えています。

優れたクラシックギターの演奏では、1つの音を出した後、次に弾く弦は一度しっかりと指でグリップ（音を止める）してから次の音を出しています。それは「ドレミ」ではなく、「ド・レ・ミ」という具合です。テンポが早くても遅くても「ド・レ・ミ」と弾いています。それによ

て本当に一音一音がとてもきれいに響くのです。(それを完璧に実践した巨匠が、アンドレス・セゴビアです。ゆったりとした曲でも、超絶技巧の速い演奏でも、一音一音をはっきりと奏でています。グレン・グールドも一音一音を切って、むしろ強調し過ぎな程に弾いています。だからこそ、彼らの演奏はとても速いフレーズでも一音一音が明瞭に、美しく聴こえるのです。)

オーディオの場合も全く同じだと思います。例えばしっかりとグラつかないようにセッティングされたスピーカーから、素晴らしい再生音が奏でられていたとします。そこであえて僅かなグラつきをスピーカーと床との間に与えてみると、それだけでもう音階が混ざり合い、繋がり合い、到底美しい音とは言えない状態となります。

一音一音を混ぜることなく明瞭に再生すること・・・これは優れた演奏家の技術・情熱を忠実 (=Hi-Fidelity) に再生するために欠かせないポイントなのです。

③「高い音と低い音」のセパレーション

次は、「高い音と低い音」のセパレーションです。「高い音」や「低い音」という言葉はいつごろから使われ始めたのでしょうか？英語でも高い音を High note または High frequency と呼んでいます。きっと古来より使われてきた言葉だと思いますが、言語の違いに関係なく自然と高い音は上の方から聴こえるように感じ、そのままに表現してきたのでしょう。これは私達ヒトが生まれながらに持っている素晴らしい感覚だと思います。ですから最も歪みが少なく自然に近い音は、高い音が上の方から聴こえ、低い音は地を這うように下の方から聴こえるのです。

同様に、優れたオーディオでは「高い音」はスピーカーより遥かに高いところから、「低い音」はずっと低いところから聴こえてきます。逆に、少しでも歪みのあるシステムでは「高い音」も「低い音」もみなスピーカーキャビネットの辺りからしか聴こえなくなります。また高音、低音が中音域に寄った「団子状態」は、受け取り方によってはパワフルに聴こえることで「良し」される事もあります。しかし上記の考えに当てはめてみれば、本来の音楽の姿であるとは言えないと思うのです。

ご参考にお聴きいただきたい曲は、パガニーニの「24の奇想曲5番」です。ヴァイオリンの旋律が低い弦から徐々に上がり、もっと上がり、またもっと上に……という美しいフレーズがあり、音階の上がり下りの感覚がとてもよくご理解いただけると思います。

高い音はより高い所から、低い音は地を這うようにより低いところから響く・・・それこそ、音楽で最も大事な要素の1つである「コントラスト」の美しさを存分に享受できるのです。

メソッドに耳を集中させ、僅かな音の違いを判断する

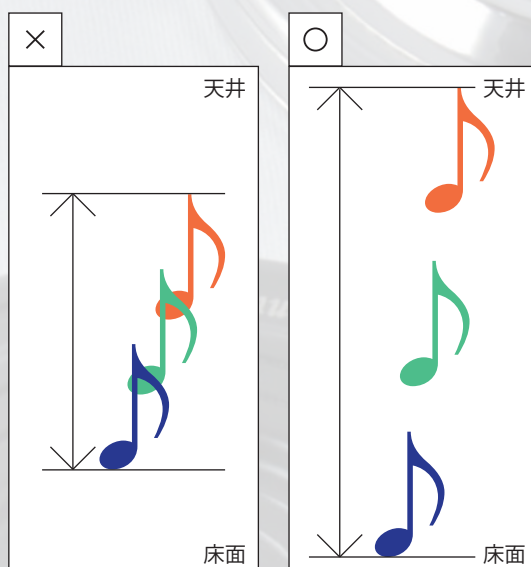
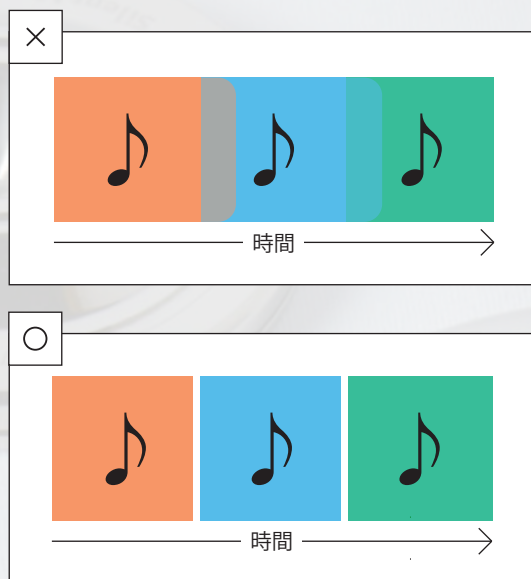
「本当は音やセッティングのことは詳しくわからない、それでも良い音・良い音楽が大好きだ」という方は沢山いらっしゃいます。そうでなくとも、オーディオは所詮好みで選ぶもの、人にとにかく言われたくないものです。

しかしこれがメーカーとなりますと、漠然とした感覚だけで決める訳にはいきません。

私共は製品開発に際して、多くの選択肢の中から最善のものを選定します。例えば素材5種類を比較して良いものを選ぶ時、特性ではなく、先入観の入らないブラインド試聴のみを唯一の方法としております。実際の製品を例にとりますと、スパイク受けのサイレントマウントを設計するにおいては、非常に複雑な組み合わせで数10通りの試作品を作り、ベストを選びました。またリジッドタワーの天板のくり抜き形状、材質と接着剤の選択の際も、30種類以上の試作を行いました。特に真ん中の穴のくりぬき形状に至っては最終的には1mmステップで追いつくものもあります。

このようなことを第三者の方にお話すると、「そんな微妙な差がわかるのか？」と言われるます。実際、数値上では僅かな違いしか無いと思われる比較もあります。しかし上記の3つのポイントに集中して聴き比べると、ごくわずかな差でも非常に大きくクローズアップされて良否の判断が出来るのです。

ぜひ1度、お試しください。



Grand Series

グランドシリーズ

フラッグシップ オーディオラック・テーブル

Andante
Largo



Grand Tower 743 + SM-5TX

リジッドシリーズが10周年を迎えるにあたり、その重要な開発ポリシー「軽量・堅牢・コンパクト・制振」を守りつつ、コストの制約無しに「最も理想的なラック」を追求した結果、グランドシリーズが誕生いたしました。

特にフレームのコーナー部で各パイプを繋げ、全体の強度を大きく左右する「コーナージョイント」は完全な新設計。超々ジュラルミン7075の削り出しを採用し、ジョイントが（リジッドシリーズのようにパイプ両端の中に入るのではなく）パイプの外側を包み込む設計とすることで、接着面積の飛躍的な拡大を実現。リジッドシリーズ比で約1.5倍のハイコストとなるパーツであるものの、32mm径となったパイプとも相まって、かつてなく堅牢なフレームの構築を実現しています。

● アンダンテラルゴの考える「究極のラック」が、ここに誕生しました ●

¥780,000 (Grand Solo 490 / グランソロ / 1段)

～ ¥1,510,000 (Grand Tower 936 / グランタワー / 6段)

		近日 発行予定
グランソロ 540	コーナージョイント	PDF カタログ

Rigid Series

リジッドシリーズ

オーディオラック・テーブル

Andante
Largo



Tower S 865 + SM-5TX

Rigid Table (リジッドテーブル) は、アンダンテラルゴが提唱するラックの4原則、「軽量・堅牢・コンパクト・制振」を忠実に表したオーディオテーブル(プレーヤー台)です。

Rigid Tower (リジッドタワー) は、リジッドテーブルにおいて私共が具現化したラックの4原則をそのままに、実際の使用環境においての使いやすさを取り入れて誕生した、多段型のオーディオラックです。

全種、25mm径のチタンパイプを採用。多彩なフレームサイズと段数のバリエーションをご用意しています。

¥300,000 (Rigid Table ALT S - 12T / リジッドテーブル / 1段)

～ ¥680,000 (Rigid Tower S 866 / リジッドタワー / 6段)

	
リジッドテーブル	PDF カタログ

Rigid SubTable

リジッド サブテーブル
薄型 オーディオテーブル

Andante
Largo



リジッドテーブルの性能をそのままに、床置きや造り付けの棚でもお使いいただけるようカスタマイズしたオーディオテーブルです。3種類のサイズ(幅 × 奥行)と2種類の高さからお選びいただけます。

¥160,000 (ALT S-12SUB / T・高さ 90 mm)

～ ¥230,000 (ALT S-600SUB / T2・高さ 130 mm)

		リジッドシリーズ (5 ページ下部) と共通です
ALT S-600 SUB / T2 (ガラード 401 搭載例)	SUB / T 脚部	

棚板 バリエーション

(対象：グランドシリーズ・リジッドシリーズ・リジッドサブテーブル)

Andante
Largo



ラックおよびテーブルの価格に段数分の棚板は含まれており、こちらのオプションにご変更いただいても追加料金はいただきません。カラーは

- ・アメリカンチェリー
- ・ダークマホガニー
- ・ブラックオーク

の3種類。重量級な3点支持の機器を搭載される場合は、17.4mm厚の特厚板(通常は14.4mm厚)を推奨いたします。

また、LINN LP12 をリジッドテーブルもしくはサブテーブルでご使用いただく場合はソリッドベースアタッチメントもご検討ください。詳細等、お気軽にご相談ください。



KT ボード (標準)



blank ボード (汎用)



ソリッドベースアタッチメント

使用例 (サブテーブル)



S ボード



T124 ボード



ガラード401 ボード



ガラード301 ボード



Esoteric ボード



EMT 930 ボード

feeling

Weefolk Board

ウィーフォークボード
オーディオボード

Andante
Largo



専用設計のスパイク脚や非対称な開口部の採用等、リジッドシリーズ開発の際に得たノウハウを盛り込みつつ、コンパクトにデザインしたオーディオボードです。

サイズは4種類。単体での使用はもちろん、(WF-320 等の) 小さいモデルはリジッドテーブルと併用することで、スタイリッシュな2段構成としてもお使いいただけます。組み合わせ方法等、詳細はお問い合わせください。
¥46,000 (WF-320 / 320×285mm) ~ ¥64,000 (WF-600 / 600×480mm)



TMD (Trans Music Device)

ティー エム ディー (トランス ミュージック デバイス)
接点拡張剤

Andante
Largo



独自開発の TMD「ポリマー」はプラグの金属表面、さらには内部まで浸透し凝固。微細な凹凸を埋めて接点同士の隙間を埋め、「点接触」を「面接触」に変えることで信号・電力を確実に伝送させます。

メインの液「ポリマー」に加えて、ポリマー使用前に端子をクリーニングする「ポリッシュ」や、弊社推奨の綿棒・紙ウエスのサンプルが付属。また、「ポリマー」のみの単品「PLY」シリーズもラインナップ。定期メンテナンスを進めてポリマーが不足した際にお求めください。

¥7,000 (TMD - 3 / 3ml 入り)
~ ¥26,800 (TMD - 20 / 20ml 入り)



PDF カタログ

AL Series

エー エル シリーズ
レコード内袋 (12 インチ レコード用)

Andante
Largo



2重構造のレコード内袋。内側にはレコード面に理想的な素材「グラシン紙」、外側には耐久性に優れた「上質紙」を採用。グラシン紙のメリットと耐久性を両立しています。また、各部に独自の工夫を施しており、安心して長くお使いいただける仕様となっています。

それらを簡略化して安価にすることも容易ですが、1つ1つに大きな意義があると考え、発表当時より一貫して採用しております。実際の仕様・工程は右の QR コードやホームページをご覧ください。

¥7,000 (AL 25 / 25 枚入り)
~ ¥68,000 (AL 300 / 300 枚入り)



PDF カタログ

Silent Mount

サイレントマウント
(スパイク受け)

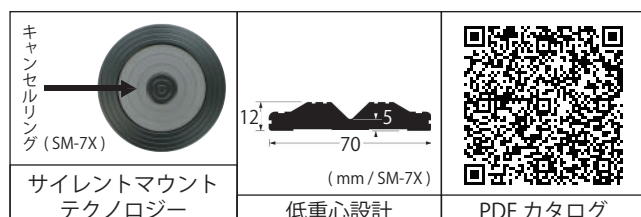
Andante
Largo



サイレントマウントシリーズは、スパイク先端からの荷重を安定して支えつつも、素材特有の音色づけや歪みを徹底的に排除。しなやかな演奏の機微、時にダイナミックなサウンドなど、音楽家達が聴き手へ伝えたい本来の音を引き出します。

◎独自の「サイレントマウントテクノロジー」

本体裏面に別素材の金属(通称「キャンセルリング」)を組み合わせる、独自の制振技術。異なる共鳴周波数の金属が互いの振動をキャンセル(打ち消す)し、素材特有の音色付けや歪みを排除しています。



◎徹底した低重心設計

厳選した特殊ステンレスやチタンを使用して非常に強固な造りとしつつ、床面からスパイク先端までのリフト量をスピーカー用(70mm径)のSM-7Xで5mm、ラック・アンプ用(50mm径)のSM-5X・SM-5TXでは3mmにまで抑えました。安定した設置により、機器のパフォーマンスを根元からしっかりと支えます。

◎用途別に根本的に異なる設計

スピーカー : SM-7X・SM-7FX(大口径で重量級)
ラック・機器(※1) : SM-5X・SM-5TX(小口径で軽量)
軽量のラック・機器(※2) : SM-3TX(より小口径で軽量)

※1 機器、または機器とラックの合計重量が25Kg以上の場合

※2 機器、または機器とラックの合計重量が25Kg以下の場合

¥33,000 (SM-5X / B4) ~ ¥70,000 (SM-5TX / P4)

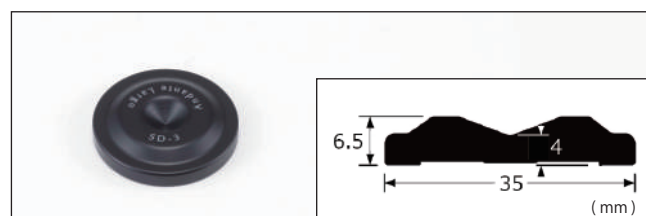
上記の価格は4個組の場合。3個組も別途でご用意しております。

Solid Mount

ソリッドマウント
(スパイク受け)

of

Andante
Largo



サイレントマウント開発の際に得た他の様々なノウハウ(適切な素材選択や形状等)を盛り込むことで、サイレントマウント譲りの音質とリーズナブルな価格を両立しています。カラーはブラック、4個組で販売しております。
¥13,000 (SD-3 / B4)

サイレントマウント
と共通です

PDF カタログ

Chord Company

コードカンパニー

(ケーブル・ノイズポンププラグ)

Built by (and for) music fans
and music makers



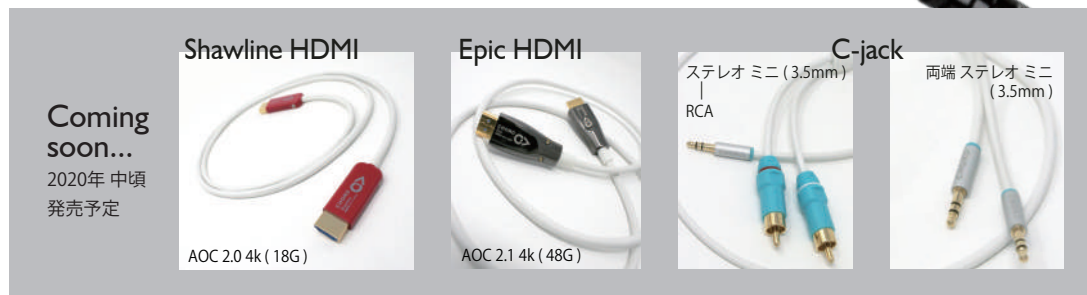
30年以上に渡ってオーディオケーブルを作り続けてきたコードカンパニー。彼らは、音楽をはじめ様々な文化が集まる英国で暮らし、そこで得た経験をもって音楽の魅力がいかに数値化できない「感性」に基づいたものであるか、本当の意味で理解しているのです。

これをケーブル作りにも反映し、アレイテクノロジーをはじめとした様々な技術・素材だけでなくそれらをどのように活かして「音楽の魅力」をありのままに伝えるか——ここまですべてを考え、本当の意味での「良いケーブル」を追求し続けてきました。

コードカンパニー製品は、ベーシックなC-シリーズから最高峰のコードミュージックまで一貫した思想で設計されており、どれもニュートラルな、そしてコードカンパニーらしい「心に響く音」をご堪能いただけます。



¥860 (切売りスピーカーケーブル「Leyline」1m)
～ ¥1,040,000 (「ChordMusic」アナログ XLR 1m ペア)
上記の価格帯は一例です。
詳細はカタログや価格表をご参照ください。



From England



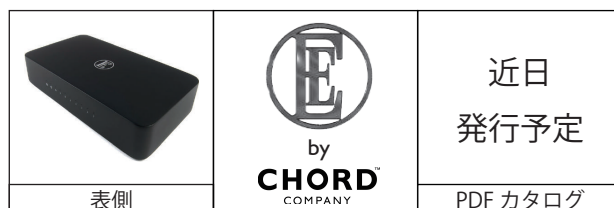
PDF カタログ

English Electric 8Switch

イングリッシュ エレクトリック エイト スイッチ
スイッチング ハブ



2020年のブリストルハイファイショー (英国最大級のオーディオ・AVショー) にて、コードカンパニーが新ブランド「イングリッシュ エレクトリック」を発表。同時に第1弾製品としてスイッチングハブ「エイトスイッチ」を発売しました。日本では、本年中頃の発売を予定しております。
¥88,000 (予定価格)



HANNL Mera Professional

ハンル メラ プロフェッショナル
バキューム式 レコードクリーナー

¥ 640,000



メラ プロフェッショナルは、従来機種の優れた特性をそのままに、製造の合理化による約 20% のプライスダウンと使い勝手の向上を実現しました。

特に新機能のオートモードは非常にシンプルな手順となっており、優れた静音設計と共に洗浄の手間を大幅に低減。手軽にクリーニングをお楽しみいただけます。

また、ローリングブラシを用いて徹底的な洗浄を行うマニュアルモードも装備。レコード音溝の深くに癒着した微細な塵芥を掻き出し、徹底的に洗浄します。

Made in Germany



PDF カタログ

Nessie Vinylmaster

ネッシー バイニルマスター
バキューム式 レコードクリーナー

¥ 398,000



かつてないシンプル操作のバキューム式レコードクリーナー。各アームの位置センサー（盤面へのセット状況）と、それに連携したマイクロプロセッサーを搭載。難しい調整等は必要なく、1面を2分でクリーニングできます。

優れた静音設計とも相まって、非常に手軽なレコードクリーニングを実現しました。

また、特に汚れているレコードに有効な15分間の長時間洗浄モードも搭載。乾燥を防ぐために洗浄液を自動で追加散布しつつ、徹底的に洗浄します。

◎ バキューム式にこだわる「理由」

近年は様々な方式のレコードクリーナーが発売されています。その中で「バキューム式」と呼ばれるものは、

- ① 毎回新鮮な洗浄液を盤面に散布
 - ② 洗浄液に含まれる界面活性剤とブラシの力で汚れを浮き上がらせて
 - ③ バキュームの負圧に伴う強力な水流で汚れ・雑菌を洗浄液と共に根こそぎ吸い上げ、廃棄
- という方式です。これは他の方式で見られる

- 洗浄液の再利用（前に洗浄した盤の汚れや菌が移る・浄化フィルターの作用にも限界がある）
- クロス等での簡易な拭き上げ（音溝深くの水分・汚れはほとんど除去できない・使用した液の成分によってはノイズがコーティングされて静かに感じるが、同時に大切な倍音成分まで封じてしまい、レコード本来の生き生きとした響きを失う）
- 送風等による乾燥（汚れや液の含有成分が盤面に固着する）

等も行われません。

「清潔な流水と界面活性剤を用いて汚れをかき出し、しっかりと吸い上げる」

これは（様々な技術が進歩した現代においても、洗濯機がこの方式であり続けるように）、適切なクリーニングを行う上で不可欠な工程なのです。アンダンテラルゴでは、ハンルやネッシーが採用するこの「バキューム式」こそが、古典的ながらも最も確実なクリーニング方式であると考え、お届けしております。

上記 2 機種はプチプチというノイズを取り除く「だけ」のためには非常に高価なマシンであるものの、本来の音楽性・躍動感を取り戻すという「レコードクリーニングの真髄」と言える領域において、ハンルとネッシーは真価を発揮いたします。



ローリングブラシでの洗浄
（ハンル）

洗浄後の乾燥・保管にはアンダンテラルゴのオリジナル内袋「AL シリーズ」（12インチ用 / 7ページ参照）を推奨いたします。

本カタログの表示価格は全て税抜です。

(2.5K)

より良い製品作りのため、

仕様や価格等は予告なく変更する場合がございます。

2020年 5月 発行



アンダンテラルゴ公式
ツイッターアカウント更新中
ぜひご覧ください。
ID : info_A_L



弊社ではお試し用に1週間、ほぼ全てのコードカンパニー製品と、一部のアンダンテラルゴ製品をお客様へ直接お貸出ししています。

詳細はこちらのQRコードからホームページをご覧ください。ただか、お電話にてご相談ください。



アンダンテラルゴ 株式会社

〒189-0013

東京都 東村山市 栄町2-31-16-201

フリーダイヤル：0120-77-3412

TEL：042-393-3412

FAX：042-394-7155

Mail：info@andante-largo.com